



ストーンペーパー

原料に木材チップやケナフなどを一切使用せず、石から抽出した無機鉱物粉末を主原料に作られている。太陽光に約6ヶ月間当たり続けると粉々になった卵の殻のように分解される。

森林資源を保護します。製造時に廃水を排出しない、強い酸やアルカリ・漂白剤を必要としないので水資源を保護します。乾燥・洗浄の工程がないので廃水や排気ガスを排出せずクリーンな空気を守ります。使用後はプラスチック製品の回収ルートを通じ回収、粉砕、押し出し造粒しPEの添加剤となり植木鉢等を生産することができます。

技術

炭酸カルシウムに樹脂と添加剤を入れてかく拌してベース紙をつくり表面にコーティング処理をしてフォトペーパー合成紙などの用紙になります。ユポよりも安いので代替品として有効。

具体的提案事例

スコアカード、名刺、卓上カレンダー など

ストーンペーパー

石からできた 次世代ペーパー

木を伐採しない、環境のために今できること。

原料に木材チップやケナフなどを一切使用せず、石から抽出した無機鉱物粉末を主な原料としてつくられたストーン紙です。だから、製造時には貴重な森林を伐採する必要がありません。

リサイクルが可能です。

簡単に自然に優しく再利用できるのがメリットです。



水を保護します。

製造時に「廃水を排出しない／強い酸を使わない」



陽に当たると分解されます。

紫外線によって簡単に自然分解する紙です。



廃棄物も出ません。

クリーンな空気を守るための最大限の努力。





MUD(メディアユニバーサルデザイン)

日常生活の中で様々な色で線や文字が使われています。ところがこれらの色使いは一般の色覚の人の見え方だけで作られている場合がほとんどで、色弱者が情報を読み切れずに不便を感じるケースがあり、それらの不備を考慮すべきという観点からのデザイン。

高齢化社会が進んだ現在、弱視やディスラクシア(読み書き障害)という障害に加え、老眼、白内障等々、衰えによる視力の低下に悩む人が急増しています。一方で製品の多機能・高機能化、小型化、デジタル化が急速に進んでいます。

技術

イワタのUDフォント・色の重ね方に気をつける(隣り合う色の配色の配慮または白縁を付ける)・差別化させる色の使い方(カレンダーの休日と平日のように色弱者の中には赤と黒の識別が難しい方がいます、赤をオレンジに変更する)

具体的提案事例

卓上カレンダー、観光マップ

MUD

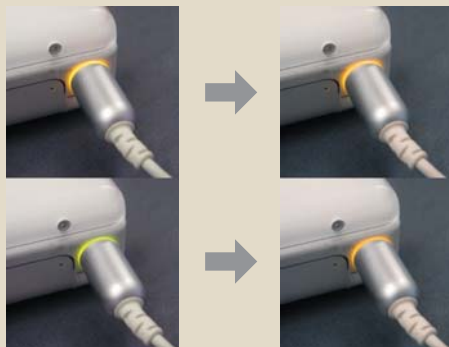
私たちの大切な人へ、色もバリアフリーへ

一般の色覚者の見え方

色弱者の見え方

充電中

充電完了



「充電中」も「充電完了」も同じに見えてしまいます。



差別化させる色の使い方

カレンダーの休日は赤を一般的に使われることが多いですが色弱者の中には赤と黒の識別が難しい方がいます。それではせっかくの休日を分かりやすくしてあるのに平日と見え方が一緒では意味がありません。そこでオレンジを使い形を変えるなどの工夫を加えることで判別しやすくします。

色の重ね方に気をつける

カラーユニバーサルデザインでもっとも注意すべき点は隣り合う色の配色の配慮です。場合によっては全く認識することが不可能な場合があり、そのようなことをさけるために白縁などをつけます。



オンデマンド印刷機

オンデマンド印刷とは少部数、短納期、低コストなどの要望に応えるための印刷方法です。デジタル印刷機を使うのが主流となっております。このため通常の印刷と違い1枚ごとの差し替えなども可能でありオリジナルのPOP、名刺やカレンダーなどお渡しする人ごとの名入れや情報を印刷することもできます。

オンデマンド印刷機は2台有り、1台は製本ユニット付もう1台は製本ユニット無しです。
2台とも両面4c印刷可能です。

技術

用紙サイズは菊4切までセット可能で給紙エリアが2箇所有るので製本物などの場合に表紙と本文で紙を変えて【可変印刷で丁合不要→製本】このような事も可能です。製本ユニットは【スジ入れ→ステープル→折り】の順番で進みます。スペックは紙厚にもよりますがA4の32頁までは可能。

具体的提案事例

小ロットのチラシ、パンフレット、DM(宛名印字)・名刺

オンデマンド印刷機



ゼロックス
CDT60V
(製本ユニット有り)



製本ユニット
(Horizon製)



ゼロックス
DC5000
(製本ユニット無し)



給紙カセット



PUR製本

糊部分がウレタン樹脂なのでホットメルトと違い温度で硬度が左右されないために劣化によるページの落丁がない。また、開口が大きくできる。

糸かがり製本と同様の強度を持つがコストは無線とじとほぼ同じ。今後強度が必要な製本ものへの提案が可能。

技術

通常の無線とじラインをそのまま糊ユニットを入れ替えばOK。しかしユニットのセット時間がかかりかかるためロットが5,000冊以上。

具体的提案事例

申込書式の冊子、図面、地図など

PUR製本



PUR製本／開口部がこんなに開きます



通常の無線とじ製本



中とじ糊製本

ステープル(針金)を使わないのでエコをアピールできる。また、頁数によっては一工程で製本ができるのでコストパフォーマンスがある。

24Pまでの小冊子なら、中とじ製本の折りの段階で背の部分を接着し、とじの工程を経ずに製品にできます。

技術

折り機と中とじ機を組み合わせれば多い頁の中とじ糊製本も可能になります。

具体的提案事例

パンフレット

中とじ糊製本

